News Meisei

令和2年度卒業生 三年間の軌跡
3年間の努力を讃え 卒業表彰
卒業記念品／PTAから贈り物／新生徒会発足／生徒体験発表会

卓球 天皇杯・皇后杯2021年全日本卓球選手権大会 ジュニアの部で全国ベスト32

柔道 全国高等学校柔道選手権大会 島根県大会

珠算・電卓 島根県高等学校秋季商業教育実技競技大会優勝
サッカー 中国新人大会出場決定／女バス 中国新人大会ベスト8
陸上 全国高校駅伝島根県大会3位／書道 第53回島根県高校書道展
通信制課程ニュース

地域の課題に向き合ったキャリアサポート

vol.58
発行／明誠高等学校

2021年（令和3年）3月1日（月曜日） 第58号

明誠高校
マスコットキャラクター
キューブ君

地域の課題に向き合ったキャリアサポート

２月５日㈮３年生のキャリアサポート全体発表会が、本校のＭラボと福祉実習室で行われた。年間を通して生徒たちと関わってくださった各公民館の方やユタラボの職員の方、社会教育課の方もお招きし、18 グループがそれぞれに自分たちの活動を振り返り、成果を発表した。生徒たちは各公民館活動に取り組み、それぞれの地区の課題に気づき地元の方々と共に解決策を考え色々なイベントなどを企画し行動に移した。それらの成果を発表する全体発表会に向けて３年生は短い期間で内容を練り上げてきた。卒業を控えたこの時期に、自分たちの言葉で外部の方に思いを伝えることができた。この１年間貴重な経験ができたことと、お世話になった各方面の方々に感謝したい。各公民館活動の様子を写真で紹介する。

東仙道公民館

地域史跡をモチーフにお菓子作成

種公民館

農業体験で地域の課題を発見

鎌手公民館

鎌手児童クラブの子どもたちと交流

益田公民館

館内図書室をリフォーム

吉田公民館

地域の方々との交流会

安田公民館

津田海岸でビーチバレー大会開催

小野公民館

戸田小学校の児童との交流

豊田公民館

保育園児を招待してミニ運動会開催

高津公民館

アオハルライドを企画・参加

二川公民館

自作野菜のお弁当をお年寄りに配達

都茂公民館

地域で「カタリバ」を企画

真砂公民館

マコモダケ入りのたこ焼きを作成

匹見上公民館

「ごみひろいウオーク」で地域と交流

二条公民館

桂平小学校でカフェ開店

中西公民館

自作のお菓子で地域の朝市に参加

道川公民館

道の駅シンボル看板の作成

美濃公民館

地元の食材でピザ作り

匹見下公民館

ゲートボール大会を企画

学校法人 益田永島学園
明誠高等学校
［お問い合わせ先］明誠高等学校総務部/TEL.0856(22)1052

明誠高校 instagram QR コード

明誠高校 YouTube QR コード

MEISEI HIGH SCHOOL 卓球 SINCE 1957

天皇杯・皇后杯2021年全日本卓球選手権大会（一般ジュニアの部）山﨑唯愛がジュニアの部で全国ベスト32！

令和3年1月11日から17日まで、丸善インテックアリーナ大阪で天皇杯・皇后杯2021年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）が開催されました。高校2年生以下のジュニアの部には島根県から2名が出場、1年生の山﨑唯愛がシードから登場し、4回戦まで順調に勝ち進みましたが惜しくもベスト32で敗退しました。2年生の椿　侑芽は大接戦で1回戦を勝利することができました。一般の部には、本校卒業生、立命館大学の萱嶋沙希さんと本校3年生で強豪国立大学に合格している森岡恭加が出場し、森岡恭加は3回戦まで駒を進めました。今年度初めての全国大会で厳重な新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中で、戸惑う場面もありましたが無事大会が実施されたことに感謝しています。国内最高峰の大会で3名とも接戦を勝利し、堂々と戦ってくれました。応援ありがとうございました。

アドバイスをする岸卓臣監督

ベスト32に進出した山﨑唯愛

接戦を制し全国初勝利の椿侑芽

一般の部で3回戦進出の森岡恭加

MEISEI HIGH SCHOOL 柔道 SINCE 1957

全国高等学校柔道選手権大会 島根県大会

◎結果

個人
48キロ以下級　西林　佑季子　優勝
52キロ以下級　伊藤　花恵　優勝
　下野　結　2位
63キロ以下級　小川　絢女　優勝
　梶原　愛未　3位
無差別級　井上　七海　優勝
　内田　柚菜　3位
　島田　永遠　3位
団体　女子　優勝

◎総評

女子は、5階級中、4階級で全国大会出場を決めることができた。48キロ以下級の西林（一宮南中）は、相手を足技で崩し、得意の一本背負投げで一本勝ちした。52キロ以下級は、新人戦と同様に伊藤（玉湯中）と下野（浜田三中）が決勝を行い、伊藤が担ぎ技（背負い投げなど）を駆使し、優位に試合を展開し、最後は抑え込んで一本勝ちした。63キロ以下級の決勝は、主将の小川（青陵中）は、常に冷静な試合運びで優位な試合展開を築いた。そして、一本背負投げを掛けて技有りを奪い、優勢勝ちした。無差別級の井上（松江二中）は、積極的に組手争いをしかけながら優位に試合を展開し、試合序盤で大内刈りで技有を奪い、優勢勝ちを収めた。

女子の団体戦は、決勝で出雲西高校と対戦した。階級別の3人制で行われ、代表戦で下野が出場した。（代表戦は引き分けの階級が対戦）。相手が指導①を受け、僅差で勝利し、3年ぶり3度目の優勝を果たした。

男子は、入賞することは叶わなかったが、練習の成果を発揮した試合内容であった。次の目標を定め、前向きに稽古に励んでほしい。

今年度の県内大会は終了したが、入賞を果たせなかった生徒も目標に向かって努力してきた。その努力がいつか叶うことを信じ、これからも精進してほしい。3月に全国高等学校選手権大会が開催される予定なので、さらに練習内容を充実させ、少しでもレベルアップできるよう励んでいきたい。

全国大会出場を決めた柔道部

MEISEI HIGH SCHOOL 男子サッカー SINCE 1957

中国大会出場決定

◎総評

2月13日、県新人サッカー大会において、第3位の成績を収め、みごと中国大会出場を決めた。順当に勝ち進み準決勝で立正大湘南に惜しくも敗れたが、3位決定戦で松江東に勝利した。

◎結果

1回戦　明誠　2―1　三刀屋
2回戦　明誠　3―0　開成
準決勝　明誠　0―1　立正大湘南
3位決定戦　明誠　3―1　松江東

明誠イレブン

MEISEI HIGH SCHOOL 女子バスケ SINCE 1957

中国高等学校バスケットボール新人大会

【結果】
一回戦　対　鳥取東（鳥取2位）65対56勝ち
二回戦　対　倉敷翠松（岡山1位）60対79負け
※結果　ベスト8

【報告】

2月5日～7日まで、ジップアリーナ岡山を主会場に中国新人大会が開催された。コロナ禍の中でも、感染防止と活動を何とか両立させようという考えのもとでの開催となり、県新人大会以降、中国大会で勝つことを目標に取り組んで来ただけに、ありがたい判断だった。そして、久しぶりに中国大会で1勝することができ、嬉しかった。優勝したチームに負けはしたが、良い経験をすることができた。また強くなれるよう、この経験を活かしたい。

中国大会出場を決めた女子バスケットボール部

MEISEI HIGH SCHOOL 囃・鼾 SINCE 1957

団体総合競技・個人総合競技とも、優勝

去る10月13日、島根県立松江商業高等学校で行われた「島根県高等学校秋季商業教育実技競技大会（珠算の部）」に、本校珠算・電卓部の4名が参加した。今年初の大会となったこともあり、緊張感漂う中、団体総合競技（吉岡美佳・安見　樹・瀧　一花）で優勝、個人総合競技でも、吉岡美佳さんが優勝した。また、吉岡さんは、種目別の伝票算・ビジネス計算・読上算でも見事優勝に輝いた。部員全員が6位までに入ることができ、団体と個人競技で、中国五県高等学校商業教育実技競技大会出場を決めた。

優勝を喜ぶ珠算部員

MEISEI HIGH SCHOOL 陸上 SINCE 1957

全国高校駅伝 島根県大会3位

今年はコロナ渦の中、緊急事態宣言により、3月初旬より5月末までの3カ月間、チーム練習が出来ず、例年とは全く違う流れでのトラックシーズン開幕となった。8月中旬まで、通常授業があり、夏休みもほとんどなく、例年2～3回行う遠征強化合宿も今年は出来ず、また予定した大会は軒並み中止となり、走り込みや体調管理もうまくいかないことも多くあった。例年とは全く違う流れに多くの部員が戸惑いも沢山あったが、県高校駅伝での激走をチーム最大の目標として、準備してきた。やはり走り込み不足は否めず、基礎準備の段階からある程度の覚悟はあったが、大会に向けて体調を整えさせる事が、一番大切と考えて大会に挑ませた。選手個々が持つポテンシャルの面から言うと、3位という結果は少し物足りない結果ではあるが、優勝した平田高校もどのチームも条件は同じである。各人が力を十分に発揮できずの3位。少し残念だが、これを糧に彼らの今後の活躍に期待したい。

一区を走る勝部君

MEISEI HIGH SCHOOL 書道 SINCE 1957

第53回 島根県高校書道展

10月22日㈭～25日㈰まで島根県立美術館で開催された。

本校から2名がA部門（全国大会予選：1、2年生対象）B部門（県大会：全学年対象）にそれぞれ出品。審査の結果、B部門の73点中、3年安達萌が優良賞を受賞。本校書道部は3年連続、安達自身は初の特別賞受賞となった。

A部門に出品した米冨も行草書三行の創作作品という難度の高い作品に挑戦し、構成重視で積極果敢に攻めた作品に仕上げたが、今年も目標である「全国総文祭推薦」の枠を勝ち取ることはできなかった。しかし、彼女のように、書道塾に通ったことがない未経験者が、3年後には特別賞を取れるだけの実力を持つに至ったことは本校書道部にとって大きな自信となった。

「活動日は平日五日」、「合宿をする」「一般の書道団体の講習会参加」など行動力は県内屈指の規模を誇る明誠書道部。一方で「明誠高校に書道部がある」という認知度もまだまだ低く、書道部部員数2名と活動日数とは反比例した少数精鋭の部活動である。本稿が皆さんの目に触れる頃には、すでに次年度の高校書道展に向けて動き出しているところである。

通信制課程ニュース　TSUSHIN NEWS

文部科学省委託事業 2020

一昨年度、昨年度に引き続き、本年度も通信制課程では文部科学省が主催する「多様性への対応に関する調査研究事業（本年度から事業名変更）」に参加している。「通信制課程卒業者の社会参加意識の向上にむけたキャリア教育指導法確立プロジェクト」と題し、専門家の指導の下、複数のJST（ジョブスキルトレーニング）を企画、実施している。

全国のSHIP校（サポート教室）で実施された本年度のJSTでは、「嫌われない職場での立ち振る舞い」というプログラムで、学校ではなかなか教わる機会のない、職場での大人の立ち振る舞いや常識を学んだ。受講した生徒からは、前向きない感想が多く聞かれた。

3年目を迎える本プロジェクト。通信制課程を卒業する生徒一人ひとりが、能動的な進路実現をできるようサポートを続けていく。そして、その積み重ねが、国内の通信制課程全体が抱える課題の解決に繋がるよう、今後もがんばっていきたい。

プログラム受講中の生徒

祝・卒業

令和2年度卒業生 三年間の軌跡

それぞれの思いを胸に入学してはや三年。新型コロナウイルスの感染拡大により、たくさんの当たり前が、当たり前でなくなった三年時の学校生活。悔しさや不安を抱えながら乗り越えた君たちの卒業に、心の底からエールをおくりたい。おめでとう！

希望

平成30年4月10日、夢と希望と少しの不安を胸に、桜が咲き誇る明誠高校の門をくぐった。

入学式

研修

楽しみにしていた東京研修。東京ディズニーランド、スカイツリー、宝塚鑑賞、大学訪問。クラスメイトと一緒に食べたおいしい食事も思い出に。

2年研修旅行

奉仕

日頃お世話になっている校舎、三宅町に感謝の気持ちで取り組んだクリーンデイ。

クリーンデイ

感動

グラントワで行われた芸術鑑賞会。久しぶりに全校で集まった喜びと、初めてみた中国雑技団の演技に感動した1日。

芸術鑑賞

仲間

初めてのバス遠足。フェリーに乗っていざ宮島に。人懐こい鹿に追いかけられたのもよい思い出に。

1年遠足

躍動

様々な大会が中止となる中、3年生最後の各種代替大会に全集中で臨んだ。

団結

短い時間で団結し、三年生の底力を見せつけられたスポーツ大会。

文化部発表会

スポーツ大会

挑戦

明誠高校設定科目であるキャリアサポート。地域の方々との交流活動は生きた教材として一人一人の心に響いた。

キャリアサポート

未来へ

明誠高校での3年間。勉強と部活動に全力で取り組み、そして未来を見つめた日々。自分自身で勝ち取った進路に向けて、さぁ、明誠高校を胸をはって旅立て！

3年間の努力を讃え 卒業表彰

●令和2年度　表彰者一覧表

賞名	表彰者名
私立中学高等学校連合会賞	古川 未夢羽
産業教育振興中央会賞	福祉科　井上 梨香
島根県産業教育振興会賞	福祉科　生馬 杏香
全国福祉高等学校長会理事長賞	安達 萌
島根県高等学校体育連盟賞（優秀選手賞）【部】	該当者なし（今年度コロナの為大会中止）
島根県高等学校体育連盟功労賞【卓球部】	古川 未夢羽
島根県高体連バスケットボール部専門部和上賞敢闘賞	関口 奈優
島根県高等学校野球連盟賞	香川 力也
全国珠算教育連盟賞	該当者なし
益田ロータリークラブ賞	安達 萌
島根県吹奏楽連盟賞	美浦 穂乃栞・金坂 愛香
クラブ功労賞	【卓球部】 生馬 杏香・森岡 恭加・古川 未夢羽・栗本 結有・佐々葉 結子 【陸上競技部】 勝部 遼・豊田 亮介・永見 穂乃香・森山 凛・拝上 芽生

生馬 杏香さん

井上 梨香さん

古川 未夢羽さん

新生徒会発足

来年度の生徒会執行部が決定した。生徒会選挙が行われ、会長には2年4組の嘉島君、副会長には2年4組の平木君、2年3組の齋藤さんが選ばれた。新生徒会は、今までの伝統を受け継ぎながら新しいものも作り上げていくと意気込んでいる。生徒全員の模範となるように行動し、先頭に立って行動することで、新たにスケールアップした学校に変えていってほしい。

新生徒会役員

2021年度 生徒会執行部

生徒会長	嘉島　漠人くん	補佐	濱村　璃子さん
生徒副会長	平木　天翔くん		豊田　葵さん
生徒副会長	齋藤　美翔さん	文化委員長	本山　春花さん
体育委員長	山下　広夢くん	保健委員長	齋藤　愛華さん
交通委員長	齋藤　武蔵くん	風紀委員長	山本　未來さん
図書委員長	米富　文彌くん	事務長	高橋　英俊くん
古藤真之介くん	油谷　栗乃さん	石田　晴也くん	畑本　乃愛さん
窪坂　啓吾くん	明山朱々華さん	桑原　心花さん	田中　咲良さん
増村　倭くん	安田こころさん	岡　輝羅々さん	小村　駿輔くん

福祉科だより

◎2021・2・8 生徒体験発表会

福祉を学ぶ県内の高校生が集まり、各校の代表者による福祉体験発表会がくにびきメッセにて開催された。

本校からは、2年生の小田美宇さんが「命に関わる」という題で、「祖父の命の際に立ち会った経験を通して、学校で学んでいることは人を助けることにつながっている。学べば学ぶほど、苦しんでいる人を助けることができる範囲は広がっていくのではないかと考えるようになった」と発表した。

自分の感じたこと、考えたこと、それまでと変化したことを堂々と伝え、最優秀賞に輝いた!!　次は中国大会へ進む。

最優秀賞の賞状を手にする小田さん

PTAから贈り物

今年度、PTA活動が十分に出来なかったため全校生徒にオリジナルマスクを作成し、贈呈することになった。ありがとうございました。

Special Thanks 卒業記念品

今年度111名の卒業生よりApple TV 5機・教室用サーキュレーター16機を卒業記念品として贈呈していただいた。各教室での授業や学校行事において大切に使わせていただきたい。